

道づくりだより

第59号 2013.1 島根県道づくり調整会議



-Contents-

1. 松江だんだん道路（川津IC～西尾IC）開通（道路建設課）
松江自動車道（三次東JCT・IC～吉田掛合IC）開通（高速道路推進課）
2. 一般国道488号長沢第二トンネルが貫通しました（道路建設課）
3. 11県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました（高速道路推進課）
4. 松江自動車道開通PR in 島根ふるさとフェア2013（高速道路推進課）
5. 寒い日は安全運転で！（道路維持課）
6. 大田市駅通りで社会実験をしました！（都市計画課）
7. 森林へのアプロー千 林道石見高原線（森林整備課）
8. 浜田漁港海岸保全施設整備事業との合併施行による
市道長沢外/浦線（道路改良）完成間近！（漁港漁場整備課）

松江だんだん道路（川津 IC～西尾 IC）

3月10日（日）15:00 開通

一般国道485号「松江だんだん道路」は、一般国道431号川津バイパスと一般国道9号松江道路を結ぶ地域高規格道路で、豊かで活力ある「宍道湖・中海都市圏」の形成を図る主要な都市基盤として、平成15年から整備を進めてきました。

昨年3月には、大橋川を渡る西尾 IC から松江 JCT までの区間（延長2.6 km）が開通し、今回、残る川津 IC から西尾 IC までの延長2.6 kmの区間が開通して、全線5.2 kmが完成します。

この道路の整備により、宍道湖・中海圏域の活性化に大きく寄与するとともに、松江市街地の渋滞緩和、災害や緊急時の避難路や迂回路としての効果が期待されます。



松江自動車道（三次東 JCT・IC～吉田掛合 IC）

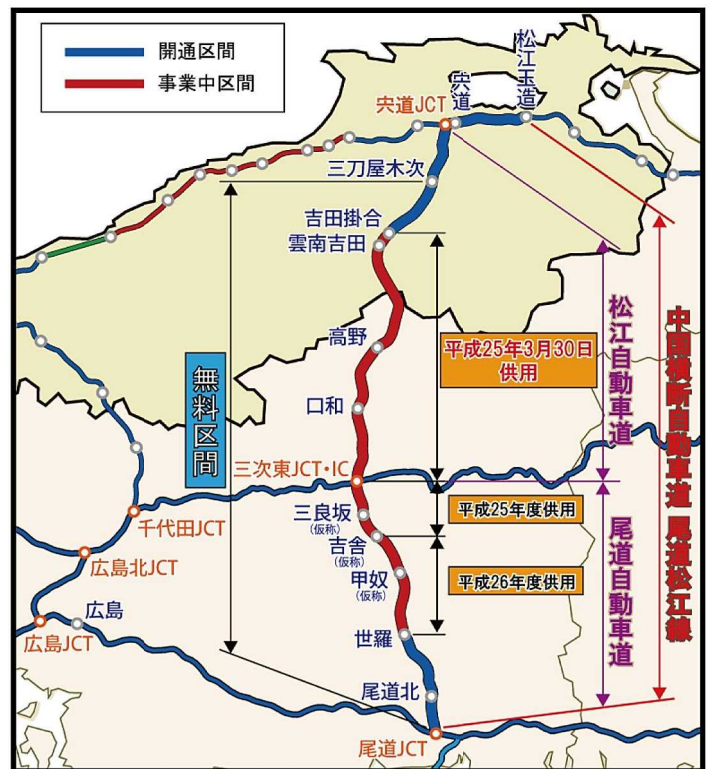
3月30日（土）17:00 開通

松江自動車道（中国横断自動車道尾道松江線）の三次東 JCT・IC～吉田掛合 IC 間の延長48.7 kmが開通します。

これにより、松江自動車道（三次東 JCT・IC～宍道 JCT 間の全長71.6 kmが全線開通します。

今回の開通により、松江市から広島市への所要時間が約50分、松江市から三次市までの所要時間が約40分短縮します。松江自動車道のうち三次東 JCT・IC～三刀屋木次 IC の区間は無料の高速道路となります。

今後、三次東 JCT・IC～吉舎 IC（仮称）間の平成25年度供用、吉舎 IC（仮称）～世羅 IC 間の平成26年度供用に向けて引き続き整備が進められます。

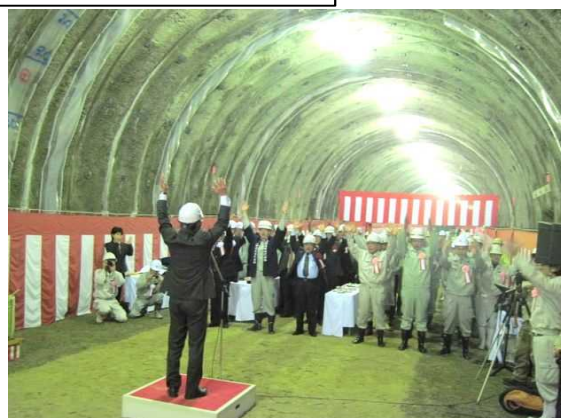


一般国道488号 長沢第二トンネルが貫通しました

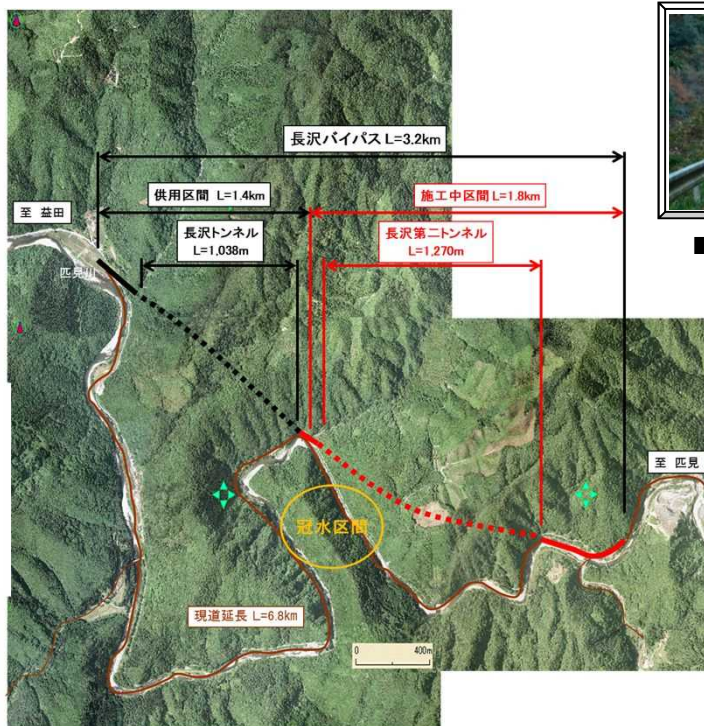
益田市長沢町地内において、一般国道488号の長沢バイパス整備事業に伴い施工中の『長沢第二トンネル(全長1,270m)』が掘削開始から約1年の歳月をかけ無事貫通し、平成25年1月31日に貫通式を行いました。

式典では、地元関係者、県・市議会、行政関係者、施工業者約90名の出席のもと、最終発破の後に通り初めを行い、貫通を祝いました。

平成25年度における供用開始を目指し、引き続き、舗装・照明等の工事を実施していきます。



一般国道488号は、益田市中心部と旧匹見町を結ぶ重要な路線であり、災害時には、横田地域と匹見地域を結ぶ緊急輸送道路としてネットワークを構築するのに不可欠な道路です。現道は幅員が狭く車両のすれ違いが困難であり、豪雨時（平成18年7月,平成22年7月）には、路面冠水が発生し全面通行止めとなるなど、その対策が急務となっていました。バイパス整備により、防災機能が高まるだけでなく、表匹見峡、裏匹見峡といった観光地へのアクセスが向上するとともに、益田圏域の地域振興に貢献することが期待されます。



■ 現道は、狭くて大変...



■ 道路が冠水し通行止めに。(平成22年7月豪雨)



11 県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました

平成25年1月23日（水）、溝口知事は高速道路の整備が遅れている11県（山形、福井、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、愛媛、高知、大分、宮崎）で結成した「高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現する11県知事会議」で、細田自民党幹事長代行、梶山国土交通副大臣、山口財務副大臣へ山陰道の早期完成を要望しました。

<要望内容>

1. 国民の生命と財産を守る強靱な国土をつくり、我が国の再生に戦略的に取り組むため、「全国ミッシングリンクの早期整備」による多重型国土軸の形成を国の責任において着実に進めること
2. 平成25年の予算において、「全国ミッシングリンクの早期整備」に必要な予算を重点枠として十分に確保し、加速度的に整備を推進すること



細田幹事長代行へ要望



梶山国土交通副大臣へ要望



山口財務副大臣へ要望



意見交換会の様子



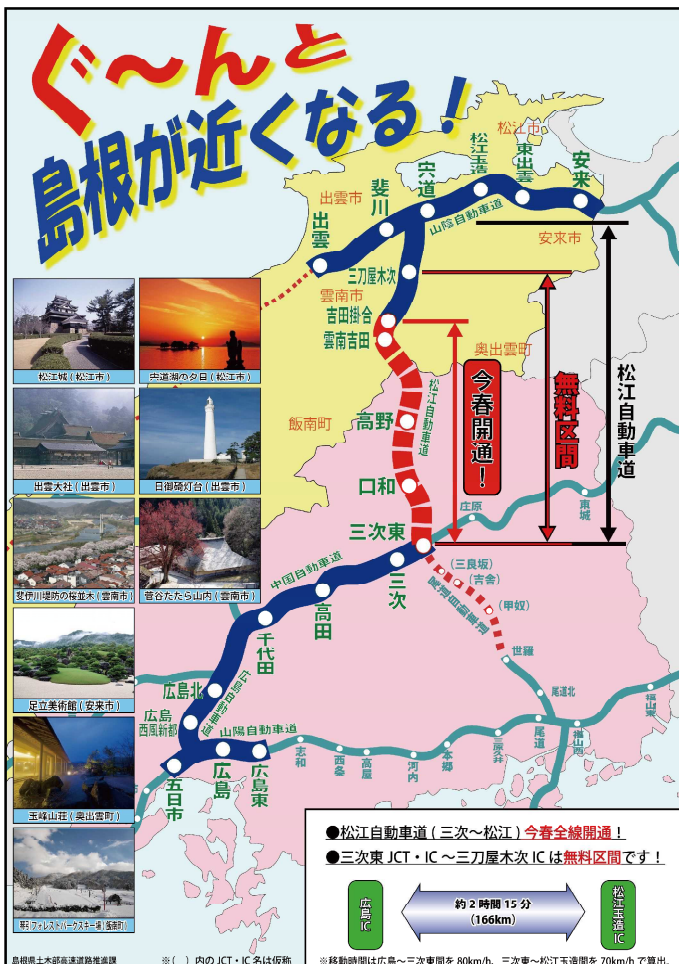
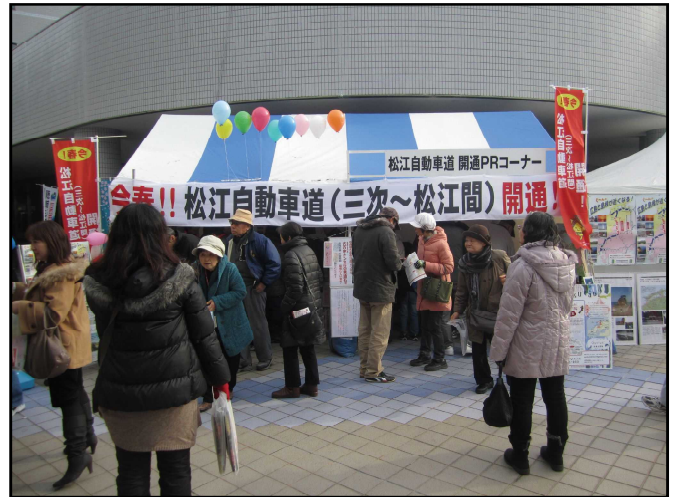
記者会見の様子

松江自動車道開通 PR in 島根ふるさとフェア 2013

1月19日（土）～20日（日）に広島県立総合体育館を中心に「島根ふるさとフェア 2013」が開催されました。多くの方が来場された本会場において、松江自動車道開通PRコーナーを出展し、平成25年3月30日（土）に開通する松江自動車道のPRをしました。

本コーナーでは松江自動車道の紹介など各種パネルを展示し、併せて開通PRのチラシやティッシュの他、大万木トンネルの貫通石を使った合格祈願&安産祈願の御守りを配布しました。

開催期間中、多くの方々に立ち寄っていただき、松江自動車道の開通をPRすることができました。



島根県土木部高速道路推進課 ※ () 内のJCT・IC名は仮称

寒い日は安全運転で!



●冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行

渋滞の原因となるスタック車両の約7割は冬用タイヤ未装着が原因という調査結果になっています。

なお、タイヤチェーンの装着は、道路沿いにあるチェーン着脱場や待避所など通行に支障のない安全な場所で行ってください。



●お出かけ前の道路状況の確認

お出かけ前には島根県のホームページで、道路の交通規制や目的地までの道路状況をご確認ください。

◇島根県道路情報道路Twitter◇



公式アカウント@road_shimaneをフォローすると県管理道路の全面通行止めや注意喚起情報をリアルタイムで取得できます。



こんなことをつぶやきます。

- 全面通行止め情報
【道路規制情報】2月2日6時30分より、県道〇〇線〇〇市〇〇町〇〇地内においてなだれにより全面通行止めとなりました。迂回路は市道〇〇線～県道〇〇線です。
- 注意喚起情報
【道路情報】1月17日7時30分現在、国道〇〇号は〇〇市から〇〇市〇〇町にかけて積雪圧雪しています。〇〇峠付近の気温は-4℃。スリップに注意下さい。
- 道路イベント情報
【道路情報】3月11日(日)〇〇町で「第22回〇〇のSL健康マラソン」が開催されます。県道〇〇線で交通規制がありますのでご注意ください。

◇島根県道路カメラ情報◇

道路の積雪状況をカメラ映像でチェックできます。



島根冬期 検索

国や隣接県の道路情報にもリンクしています。

「島根県道路カメラ情報」はこちらから →<http://www3.pref.shimane.jp/road/>

旧「島根県道路情報」の表示エラーについてはこちら
→http://www.pref.shimane.lg.jp/dorouji/roadcamerainfo/roadcamera_info.html



大田市駅通りで社会実験をしました！

大田市と島根県では、大田市駅周辺のにぎわい再生のため、地域住民・商業者と一緒にまちづくりに取り組んでいます。

H23年度は住民参加の“ワークショップ”により「まちづくり計画」を検討しました。

H24年度は「まちづくり計画」をもとにテーマを絞り込んで具体的な検討をする“部会”を開催しています。

ワークショップ・部会や住民アンケートの意見をもとに大田市駅通りの新たなみちづかいの実現に向けて取り組むため、H24年10月13日～21日に社会実験をしました。



▲駅通りの現況（H23. 1月撮影）

社会実験実施区間

【駅通りに関する地域の方々のお考え】

- 駅周辺地区の「まちづくり協議会」などでバリアフリーで歩きやすい通り、賑わいのある通りとすることが提案されています
- 周辺地域のアンケート調査でも「歩行者が通行しやすい道路」が望まれています

皆様のお考えから、大田市は以下の提案をします。

駅通り みちづくりの基本的な考え方

- バリアフリーの歩行者優先のみちづくり
- 商店街と一体となった公共スペースとしてのみちづくり
- 駅前のメイン通りにふさわしい魅力あるみちづくり

歩道を広げる社会実験の実施

○ 目的

- “安全・安心な道づくり”の試みとして歩行空間を拡大します
- “にぎわいづくり”の試みとしてイベントの実施やその他地域の発案による試みを実施します
- 様々な立場の方々にご体験して頂いた評価・意見を収集します

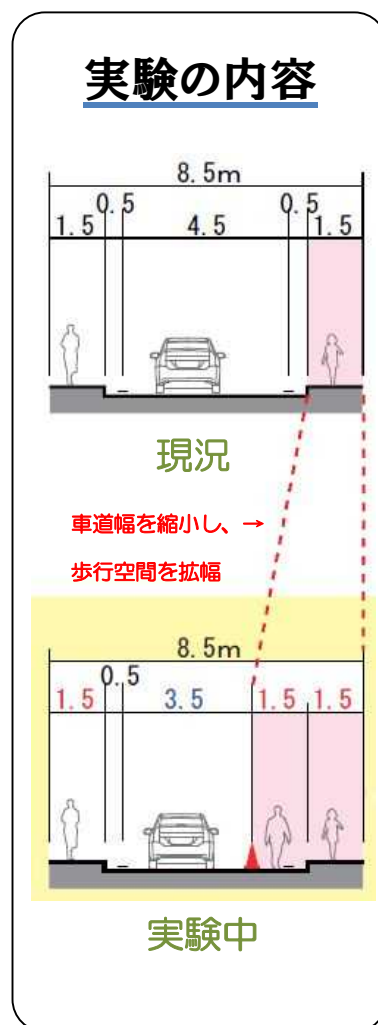
P は社会実験中の臨時駐車場として車でお越しの際はご利用ください

▲実験の実施区間や目的など（大田市作成の配布用チラシより抜粋）

▼社会実験実施日に行われた商店街有志によるイベント



▲社会実験中の様子



今回の実験のアンケートにおいて、「道路のフラット化」「車道を狭めて歩道を拡幅」について、賛同を得ることができました。ご協力ありがとうございました。

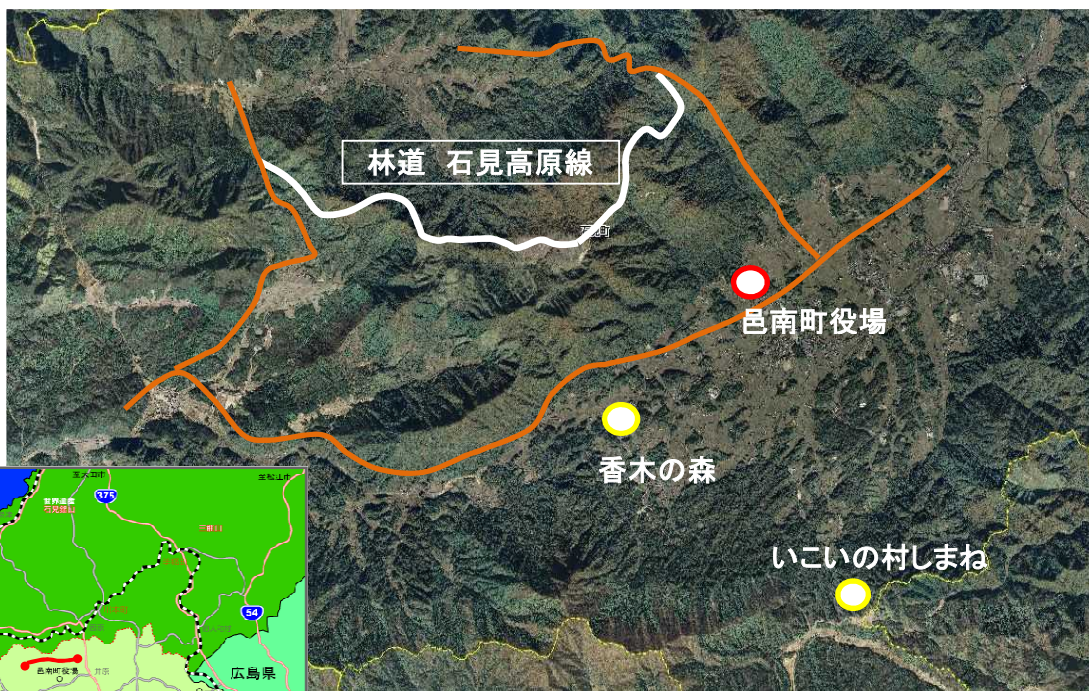
今後もワークショップ等で地元の意見をしっかり聞いて、具体的なまちづくりの検討、整備を行っていきます。



森林へのアプローチ 林道石見高原線

県央県土整備事務所

林道石見高原線は、邑智郡邑南町の中心部矢上盆地を北から見下ろす標高400m～600mに位置しています。県道日貫川本線から三次江津線を結ぶ道路で昭和63年度に工事着手し、21年の歳月をかけて平成20年度に全長約10kmが全線開通しました。開通後約5年経過した林道の利用状況をご覧ください。



市街地の背後に見えた森林が、林道の開設によりずっと近くなりました。林道からは、矢上盆地の素晴らしい景観が見渡せます。



林道沿線には、約1,100haの森林があり、現在も森林組合等により森林整備が進んでいます。

林道は、全線開通前から住宅・パルプの原材料の供給源としての木材搬出路に利用されています。



◎林道沿線で植樹祭が開催されました。

平成24年11月6日に「**島根県水源林造林協議会創設50周年記念 植樹祭**」が開催されました。主催者・一般参加者（邑智郡内の小学生52名を含む）合わせて約160名により記念植樹が行われました。



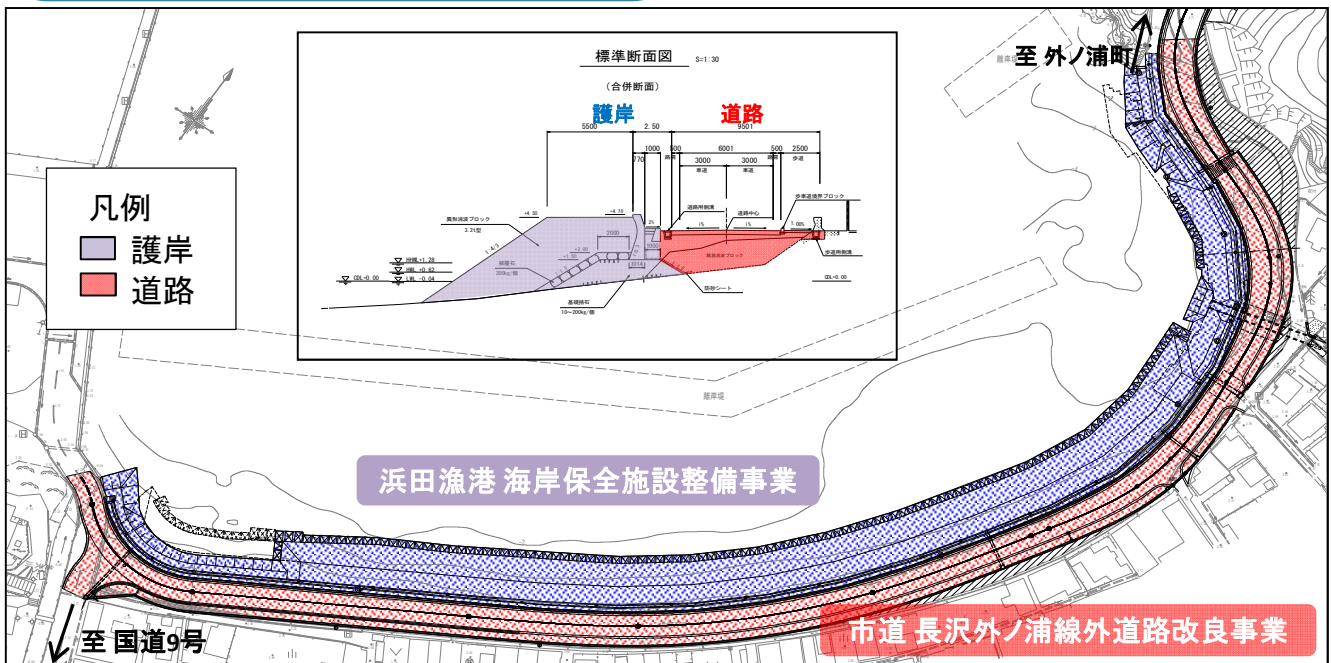
小学生は、大人に手伝ってもらって木を植えました。（次世代を担う子供たちへ、森林の大切さ、自然との共生の意義について理解を深めてもらえたと思います。）

浜田漁港海岸保全施設整備事業との合併施行による 市道 長沢外ノ浦線(道路改良)完成間近！

浜田市の市道 長沢外ノ浦 浜田市松原町地内は、昔ながらの家並みが海岸近くまで建ち並び、道路が狭いため緊急車両の進入も容易でないなどの問題がありました。

また、隣接する浜田漁港海岸は、護岸の老朽化が甚だしく、高潮時には市道が度々冠水していたことから、海岸保全施設整備事業により護岸の整備を行うことになりました。

このような状況のなか、県の海岸保全施設整備事業と浜田市による市道長沢外ノ浦線外の道路改良事業を合併し、平成19年度より護岸と道路の一体的整備を進めていきましたが、この事業がまもなく完成します。



- 事業の内容
- 護岸 L=423m 浜田漁港 海岸保全施設整備事業 (事業主体: 島根県)
 - 道路 L=450m 市道 長沢外ノ浦線外道路改良事業 (事業主体: 浜田市)
 - 事業期間 平成19年度～平成25年度(予定)

